

2019年労働組合基礎調査結果の概要について（島根県分）

島根県商工労働部雇用政策課

1. 調査の概要

この調査は、厚生労働省が労働組合及び労働組合員の産業、企業規模、加盟上部組合別の分布等、労働組合組織の実態を明らかにすることを目的に、国内すべての労働組合を対象として昭和22年以降、毎年6月30日現在で実施しているものです。島根県においても厚生労働省の委託を受け、県内の労働組合を対象に調査を実施しました。

2. 調査結果の概要

(1) 労働組合数及び労働組合員数の推移、推定組織率について

県内の労働組合数は389組合で、前年に比べ3組合減少しました。また、組合員数は43,904人で、前年に比べ4人の増となりました。推定組織率（雇用者数に占める労働組合員数の割合）は、14.89%で、前年より0.22ポイント下降しました。【表1】

(2) 産業別労働組合数及び労働組合員数について

産業別の労働組合数は、製造業（69組合、17.7%）が最も多く、次いで公務（53組合、13.6%）、医療・福祉（47組合、12.1%）の順となっています。また組合員数では、公務（8,678人、19.8%）が最も多く、次いで製造業（8,409人、19.2%）、医療・福祉（5,675人、12.9%）の順となっています。【表2】

(3) 適用法規別労働組合数及び労働組合員数について

適用法規別にみると、労働組合法の適用労働組合が300組合（77.1%）、30,019人（68.4%）と最も多く、次いで地方公務員法の39組合（10.0%）、11,145人（25.4%）となっています。【表3】

(4) 加盟主要団体別労働組合数及び労働組合員数について

上部団体への加盟状況をみると、連合系が290組合（74.6%）、31,742人（72.3%）と最も多く、次いで全労連系の38組合（9.8%）、3,899人（8.9%）の順になっています。【表4】